

令和〇年〇月〇日第〇校時  
 〇〇中学校 〇年〇組〇名  
 指導者 〇〇 〇〇 印

1 単 元 名 〇〇〇〇

2 単元設定の理由

この単元で、どのような資質・能力を目指すのかを明確にもち、  
 ①教材観 [学習指導要領の教科の目標や学年の目標、年間指導計画、他単元の学習内容との関連、評価計画における単元の位置付け、教材の特性 など]  
 ②生徒観 [生徒の学習経験や学力調査結果等を踏まえた実態、予想される生徒の学習活動 など]  
 ③指導観 [教材観や生徒観を踏まえた上での指導のポイントや工夫 など] 等について記述する。

3 単元の目標

学習指導要領に示された教科の目標を確認し、学年の目標及び内容を分析した上で、評価の観点の趣旨を踏まえること。  
 ※目標は、「おおむね満足できる」状況（B）として設定する。  
 ※生徒主体の行動目標で書く。「～をすることができる。」などの文末表現にする。

4 単元の評価規準

※評価規準は、「おおむね満足できる」状況（B）を実現した生徒の姿を想定する。

ア 数学への関心・意欲・態度	イ 数学的な見方や考え方	ウ 数学的な技能	エ 数量や図形などについての知識・理解
①・・・・・・・・ ②・・・・・・・・ ③・・・・・・・・ 文末 「～しようとしている」など	①・・・・・・・・ ②・・・・・・・・ 文末 「～できる。」 「～している。」など	①・・・・・・・・ ②・・・・・・・・ ③・・・・・・・・ 文末 「～できる。」 「～している。」など	①・・・・・・・・ ②・・・・・・・・ 文末 「～できる。」 「～している。」など

《参考》

○『『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料（中学校 数学）』令和2年3月公開  
 国立教育政策研究所 <https://www.nier.go.jp/kaihatsu/shidousiryu.html>

5 指導と評価の計画（全〇時間）

本単元「〇〇〇」を、内容のまとまりである〇つの小単元と単元のまとめで構成し、それぞれの授業時数を次のように定めた。

小単元等	授業時数	〇時間
1. 〇〇〇〇〇	〇時間	
2. 〇〇〇〇〇	〇時間	
3. 〇〇〇〇〇	〇時間	
4. 〇〇〇〇〇	〇時間（本時〇／〇）	
単元のまとめ	〇時間	

※評価計画を含めて書くことが望ましい。上記4《参考》の「第3編事例」参照

6 本時

(1) 目標

※本時の具体的目標を生徒の行動目標で書く。「～することができる。」など  
 ※「3単元の目標」や「4単元の評価規準」との整合性を図ること。

(2) 展開

時間	学習活動	指導上の留意点	学習活動における具体的評価規準	評価方法
〇分	1	・	「ア① ～している。」 「ウ③ ～できる。」 など	行動観察 ワークシート 小テスト ノート レポート など
〇分	2 ※活動内容を書く 「～する。」 「～知る。」 「～表す。」など。	・ ※教師が特に配慮する点や手立てについて記入する。 ※実験・実習・調査・資料・教具などの活用に関する留意点、他教科・他の単元との関連などを記入する。 「～することにより、～できるようにする。」など	※「6（1）本時の目標」と「4単元の評価規準」との整合性を図る。 ※「おおむね満足できる」状況（B）を具体的に書く。	

※生徒が主体的に考えたり、学んだりする時間を十分に取る。

(3) 評価及び指導の例

※「(2) 展開」の「評価規準」に示した観点について記入する。

ア①

「十分満足できる」と判断される状況（A）	※「おおむね満足できる」状況（B）を実現した生徒が、さらに質的な深まりや高まりをもっている姿を具体的に想定して記述する。
「おおむね満足できる」状況（B）を実現するための具体的な指導	※指導の手立てを具体的に想定して、記述する。

ウ③

「十分満足できる」と判断される状況（A）	
「おおむね満足できる」状況（B）を実現するための具体的な指導	

※ここに示した学習指導案はあくまでも例なので、形式や項目等については研究課題等に応じて工夫し、作成してください。